



証券コード: 7963

平成27年12月期 決算説明資料



クリーン、ヘルス、セーフティで社会に
 **興研株式会社**

営業の経過及び成果

当連結会計年度(平成27年1月～12月)における我が国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られる一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速等によって世界経済の下振れ傾向が顕れ、景気の先行き不透明感が高まりつつ推移しました。

このような経営環境の中、当期の重要課題であった「クリーン事業の確立」「マスク関連事業の強化」に集中して取り組んだ結果、売上高は前期に対し2億85百万円増の77億85百万円(前連結会計年度比3.8%増)となりました。

利益につきましては、オープンクリーンシステム「KOACH(コーチ)」やマスク全般の販売増によって稼働率が向上し売上原価率が改善されたこと、並びに全社を挙げた業務の効率化を推進したことによって、営業利益5億26百万円(同42.1%増)、経常利益4億49百万円(同42.5%増)、当期純利益2億37百万円(同60.8%増)となり、それぞれ前期実績を大きく上回りました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(マスク関連事業)

製造業向けを中心とした産業用の防じん・防毒マスクの販売は堅調に推移し、防衛予算の海空シフトに伴う防護マスクの減収分を補いました。特に電動ファン付き呼吸用保護具の国家検定化に対応して市場投入した「ブレスリンク」シリーズは、その安全性と使いやすさが高く評価され、年初の発売開始から順調な滑り出しを見せました。加えて断熱材として広く使用されるリフラクトリーセラミックファイバー(RCF)が発がんのおそれのある物質として特定化学物質障害予防規則の措置対象物質に追加され、そのRCFを用いた設備の施工、補修、解体等の作業では電動ファン付き呼吸用保護具などの有効な呼吸用保護具の使用が義務付けられたことから、同製品の需要がさらに拡大しました。

その結果、当事業の売上高は69億58百万円(同3.6%増)となりました。

(その他事業／環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」は、国家プロジェクトである大型低温重力波望遠鏡施設KAGRA(かぐら)のほか、これまでの業種とは異なる大手自動車、重機、素材・化学メーカーなど、その採用先には拡がりが見られ、研究、製造両分野におけるリピート受注も増加しました。また「KOACH」とプッシュプル型換気装置「KOKENLAMINAR(コーケンラミナー)」のハイブリッド機「LAMIKOACH(ラミコーチ)」による発生源対策クリーン換気装置という新たな市場も加わり、売上高は前期に比べ80%の伸びを示しました。その結果、当事業の売上高は前期を上回る8億27百万円(同5.5%増)となりました。

なお、11月に「KOACH」が第6回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞を受賞いたしましたことは、製品・技術の革新性及び社会的課題への対応力が高く評価されたものであり、今後の当事業分野の拡大につながるものと考えられます。

業績の概要（連結）

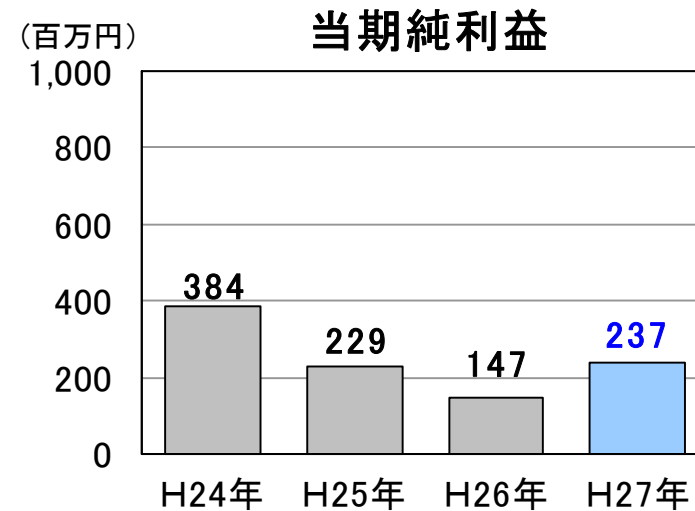
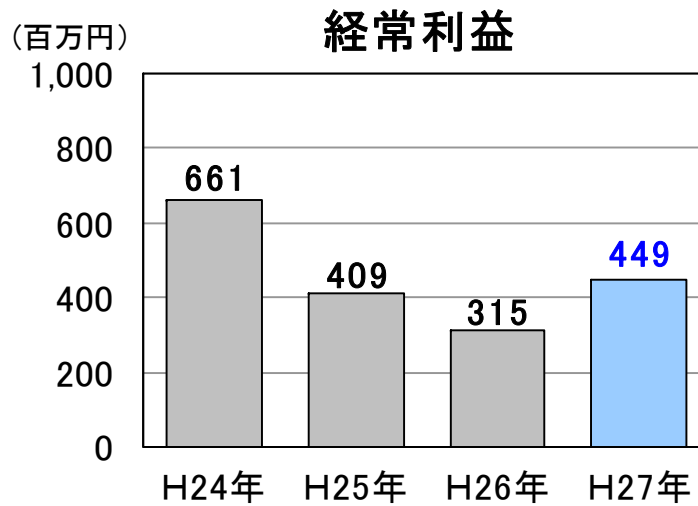
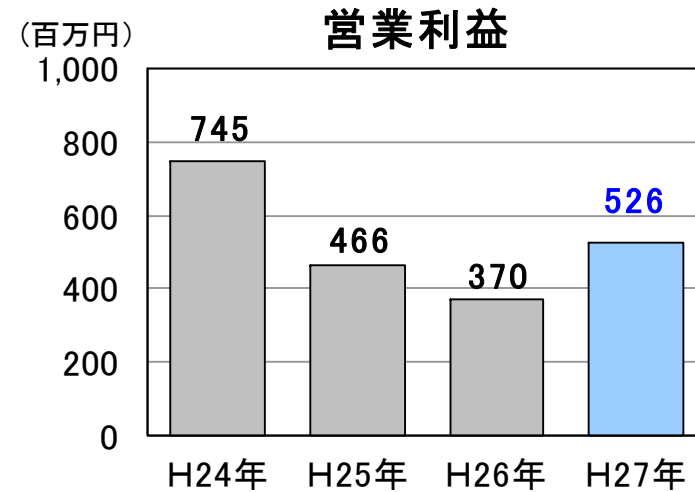
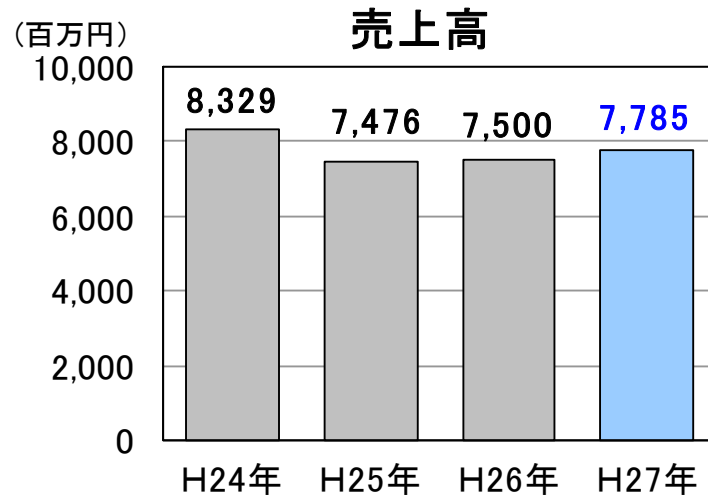
（単位：百万円／端数切り捨て）

	平成26年12月期		平成27年12月期	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
売上高	7,500	100.0	7,785	100.0
売上総利益	3,317	44.2	3,544	45.5
営業利益	370	4.9	526	6.8
経常利益	315	4.2	449	5.8
当期純利益	147	2.0	237	3.1
1株当たり当期純利益(円)	29.22	—	46.84	—

	平成26年12月末	平成27年12月末
総資産	15,552	16,294
負債	6,777	7,403
純資産	8,775	8,891
自己資本比率(%)	56.1	54.2
1株当たり純資産(円)	1,720.40	1,739.64

売上高・利益の推移

(単位:百万円/端数切り捨て)

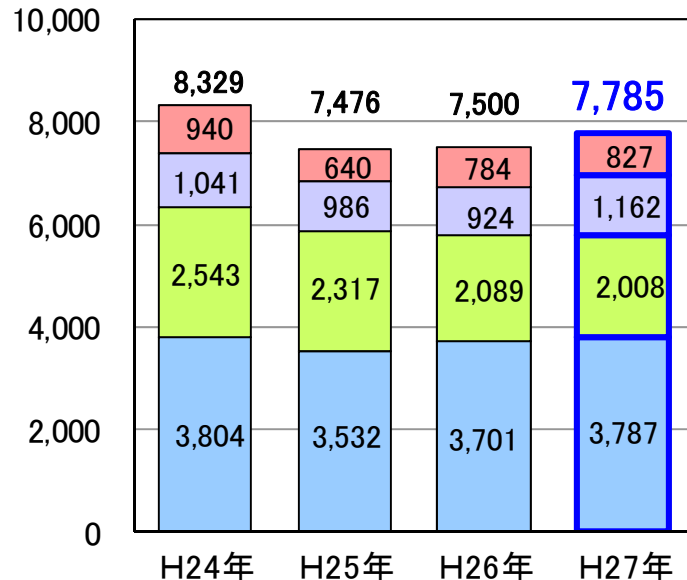


※平成26年12月期より、連結決算に移行しております。

セグメント別売上高の推移

(百万円)

(単位:百万円/端数切り捨て)



事業の状況

マスク関連事業 (■ 防じんマスク、■ 防毒マスク、■ マスク関連その他製品)

産業用の防じん・防毒マスクの販売は堅調に推移し、官需の防護マスクの減収分を補いました。市場投入した電動ファン付き呼吸用保護具は年初より順調な滑り出しを見せ、医療機関向け感染対策用マスクの販売は引き続き堅調でした。

■ その他事業 (環境関連事業等を含む)

前年の医科大学換気装置大量納入の反動減があったものの、オープンクリーンシステム「KOACH」の受注拡大や発生源対策という新たな市場への納入が加わったことにより、事業全体の売上高は前期を上回りました。

品目区分	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
■ 防じんマスク	3,804	45.7%	3,532	47.2%	3,701	49.3%	3,787	48.7%
■ 防毒マスク	2,543	30.5%	2,317	31.0%	2,089	27.9%	2,008	25.8%
■ マスク関連その他製品	1,041	12.5%	986	13.2%	924	12.3%	1,162	14.9%
小計	7,388	88.7%	6,836	91.4%	6,716	89.5%	6,958	89.4%
■ その他	940	11.3%	640	8.6%	784	10.5%	827	10.6%
合計	8,329	100.0%	7,476	100.0%	7,500	100.0%	7,785	100.0%

※品目別売上高につきましては、子会社による販売がないため、親会社のみの数値を掲載しております。

トピックス

◇「KOACH」が「ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞」を受賞

『第6回日本ものづくり日本大賞』の審査・選考においてオープンクリーンシステム『KOACH』は、「超極細高性能フィルタの製造技術と高精度な整流技術により、オープンな環境下でも短時間、低コスト、低消費電力で世界最高水準（ISOクラス1レベル）の清浄空間を実現できるスーパークリーンシステムで、従来のクリーンルームの常識を覆しただけでなく、我が国の産業、科学技術分野に大きな変革と新たな可能性をもたらす製品開発である。」と評価され、全国の応募件数315件の中から同製品の開発者4名が内閣総理大臣賞を受賞しました。



当期は、「ものづくり日本大賞」の他、「優秀省エネルギー機器表彰」「ジャパン・レジリエンス・アワード2015」を受賞するなど、『KOACH』の革新性、省エネルギー性が様々な機関からあらためて高くご評価して頂く1年となりました。



「優秀省エネルギー機器表彰 日本機械工業連合会会長賞」



「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2015
ものづくり分野 最優秀レジリエンス賞」



◇電動ファン付き呼吸用保護具「BL(ブレスリンクブLOWER)」5シリーズを発売

電動ファン付き呼吸用保護具(以下PAPR)が平成26年12月からの国家検定化に対応したBL-700、BL-1005、BL-200、BL-100シリーズと新開発のBL-300シリーズを発売しました。

BL-300シリーズには、バッテリー内蔵タイプのPAPRとしては最軽量を実現したBL-321Sのほか、石綿、ダイオキシン、リフラクトリーセラミックファイバー取扱い作業でも使用できるハイスペック軽量モデルのBL-321H、粉じん量が多い作業でも安心なハイスペック長時間モデルのBL-351H、粉じんだけでなく有機ガスにも使用できる除毒機能付きモデルBL-351HGXといった、様々な作業現場に対応できるタイプを用意しています。

今回の電動ファン付き呼吸用保護具の国家検定化及び新機種投入により、BLシリーズがより多くの市場で普及し、マスク関連事業の業績向上へ寄与することが期待されます。



BL-300シリーズ*(BL-321S)



BL-700シリーズ*



BL-1005シリーズ*



BL-200シリーズ*



BL-100シリーズ*

◇一般消費者用マスク「ハイラックNeo」シリーズを発売

鳥インフルエンザ、MERS、エボラ出血熱、そしてPM2.5など、このような事象が発生する度に医療、産業用のプロ仕様のマスクや高性能をうたうマスクに注目が集まりますが、ウイルス、細菌、PM2.5等から身を守るためには、高いフィルタ性能と高いフィット性能を合わせ持つ“本当の意味での高性能マスク”でなければその効果は望めません。

当社グループでは「マスクで人々の健康や命を守る」という社会的使命から、まず健康被害を受けやすい子ども用として平成24年より「ハイラックKIDS」シリーズを商品化し販売しております。平成27年11月には、成人用の高性能マスク「ハイラックNeo」シリーズを発売しました。



「ハイラックNeo」シリーズは、N95マスク「サカキ式ハイラック350型」の高フィット性、高フィルタ性の技術をベースに、一般の方たちが、日常生活において使用しやすくかつ安心できるマスクとして開発しました。長さ調節が可能な耳かけひも、マスクの内側が顔になじみやすい立体構造の接顔クッション、男女の顔に合わせた普通と小顔の2サイズなど、簡単に装着でき、フィットを良好に保つ構造、サイズを追求しました。また、ハイラック350型と同等の高性能フィルタが、ウイルス、細菌、PM2.5等の侵入を防ぎます。用途に合わせて3つのタイプを用意しています。



ハイラックNeo
標準タイプ。



ハイラックNeo
かからんぞ
付属の排気弁がマスク内のムレを抑えて、さらに呼吸を楽にする。



ハイラックNeo
うつさんぞ
感染症患者専用マスク
息に含まれるウイルスや細菌等をフィルタでろ過し、マスク外に拡散させない。
吸気口から息を吸構造のため呼吸が楽。

次期（平成28年12月期）見通し

（単位：百万円／端数切り捨て）

我が国経済は、中国を中心とした新興国経済の減速や地政学的リスクの高まり、株安・原油安などにより先行き不透明感は増していくと予想されます。

そのような環境下にあっても、当社グループは産業用マスクの需要を掘り起こし、医療、一般消費者用マスクの市場シェアの拡大及びオープンクリーンシステム「KOACH」を中心としたクリーン事業の着実な成長に向け、取り組みを強化して参ります。

次期の業績は、売上高82億円（当連結会計年度比5.3%増）、営業利益5億70百万円（同8.3%増）、経常利益5億10百万円（同13.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億70百万円（同13.6%増）となる見通しです。

セグメント別の見通しは以下の通りであります。

区分	平成27年12月期 業績実績	平成28年12月期 業績予想
売上高	7,785	8,200
営業利益	526	570
経常利益	449	510
親会社株主に帰属する 当期純利益	237	270
1株当たり当期純利益	46円84銭	53円19銭

（マスク関連事業）

当社グループは、フィット性の高いマスクの開発とともに、それらの普及のためフィットの重要性を啓発する活動を産業、医療、一般のそれぞれの分野で継続して参ります。

産業分野においては、新たな需要が拡大している電動ファン付き呼吸用保護具の販売強化を続け、同保護具を含めた高付加価値製品を市場に供給して参ります。医療分野では、感染対策用マスク「ハイラック」シリーズの販売に引き続き注力いたします。同シリーズの感染防止に対する優位性を伝え全国の保健所や感染症指定医療機関等でのシェア拡大に努めて参ります。一般分野向けのマスク「ハイラックNeo」・「ハイラックKIDS」シリーズにつきましては、ネット通販等を始めとした新たな販売ルートを活用し販売量の拡大を図る所存です。

売上高は70億円（同0.6%増）となる見通しです。

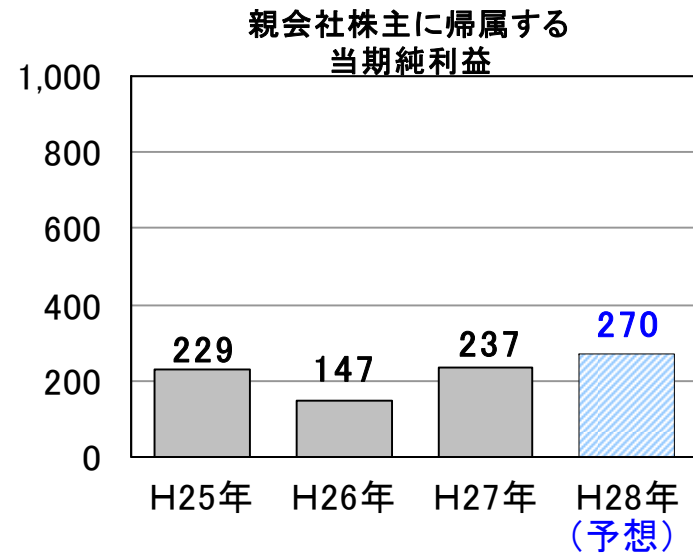
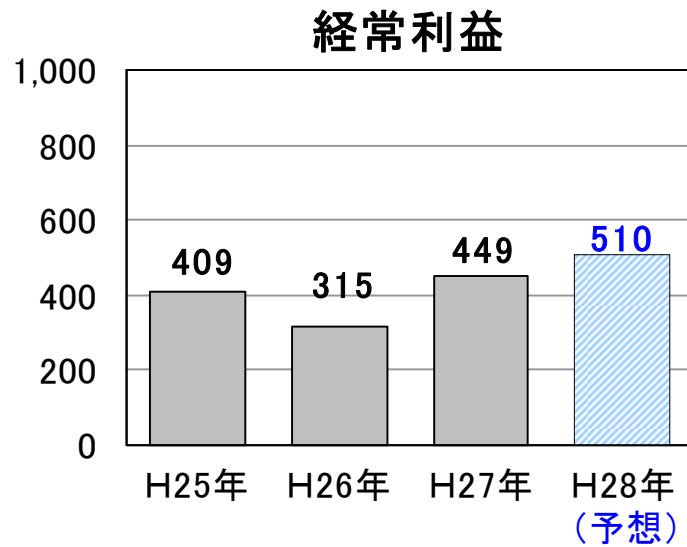
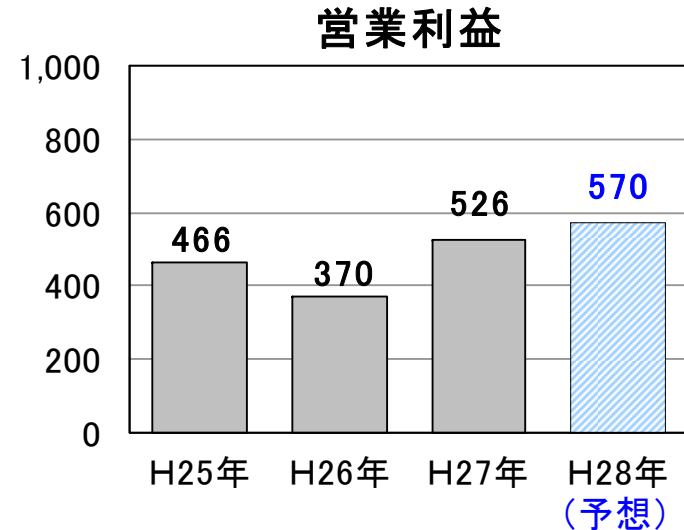
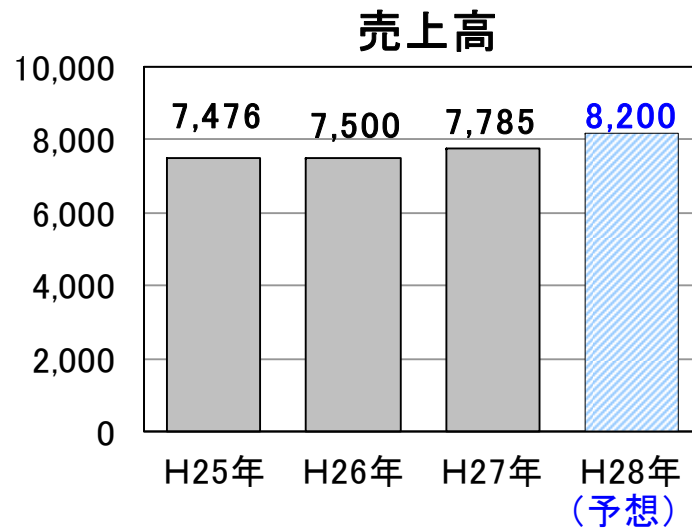
（その他事業／環境関連事業等を含む）

オープンクリーンシステム「KOACH」につきましては、現在の物件情報数2,500件を受注に結び付ける営業活動を全国の販売店と協働して行って参ります。ものづくり日本大賞などの審査時に高く評価された同製品の革新性、省エネルギー性等の特長に加え、アクチュアルクリーン（実際の作業時の清浄度）の高さを訴求し、成約の増大につなげて参ります。

売上高は12億円（同45.0%増）となる見通しです。

連結業績予想

(単位: 百万円 / 端数切り捨て)



※平成26年12月期より、連結決算に移行しております。

本資料に記載されている業績予想数値等の将来に関する記述は、「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」発表日(平成28年2月12日)現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行うようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社
広報・IR室

TEL 03-5276-1932
FAX 03-5276-6530
Eメール ir@koken-ltd.co.jp
ホームページ <http://www.koken-ltd.co.jp/>